

山陽新聞

8月12日
土曜日

発行所
山陽新聞社
岡山市北区柳町2-1-1
新聞製作センター
岡山市北区新屋敷町1-1-18

山岳遭難者 捜索迅速に

「山の日」の11日、県警は山岳遭難者の迅速な捜索や救助に役立てるため、日本山岳ガイド協会（東京）が開発したインターネット上の登山届受理システム「コンパス」の活用を始めた。県内で遭難があった場合、コンパスの情報を閲覧し、人命の確保につなげる。（三宅信行）

県警、ネット登山届受理システム活用開始



登山ルートなどを登録する「コンパス」の画面

ガイド協と協定 日程、ルート情報閲覧

県警と協会が同日付で協定を締結し、運用を開始した。協定には、県警は遭難者が出た場合にコンパスの情報を閲覧できる▽協会は情報閲覧に必要なアクセス権を県警に提供する▽県警と協会は登山者の情報を厳正に管理し、情報の秘密保持を徹底する—という内容を盛り込んでいる。

コンパスは、登山者がパソコンなどから日程やルート、下山予定時刻、緊急連絡先などを登録し、登山届の提出とする仕組み。同協会が2014年4月から本格導入している。

登山届は警察や自治体が万々に備え、登山者に求めている。提出

県警と協会が同日付で協定を締結し、運用を開始した。協定には、県警は遭難者が出た場合にコンパスの情報を閲覧できる▽協会は情報閲覧に必要なアクセス権を県警に提供する▽県警と協会は登山者の情報を厳正に管理し、情報の秘密保持を徹底する—という内容を盛り込んでいる。

コンパスには登山者から下山報告がない場合、家族らに通知する機能もあり、自然災害などが起きた際の安否確認に活用できる。

コンパスでは全国各地の山の登山届が作成可能。専用サイトやアプリの地図から目標の山やルートを登録し、緊急連絡先などの必要事項を入力すれば、本人だけでなく、指定した家族や友人も情報を共有できる。登山者はコンパスの画面上で下山を報告するが、予定時刻から7時間たっても報告がなければ、緊急連絡先に自動的に通知が届き、早期の発見、救助につながられる。

自然災害時の安否確認も

コンパスの利用者は全国で約5万2千人。遭難者を捜索する際、同じ時間帯に同様のルートを計画した別の登山者を探し出し、目撃情報などの手掛かりを得ることもできる。

日本山岳ガイド協会によると、2014年9月の御嶽山（長野、岐阜県）の噴火では、行方不明とされた登山者の一部から下山報告があったため救出不要だと分かり、効率的な活動につながった。

協会は「コンパスには登山者が互いに助け合う機能も付与されている。迅速な救助、捜索活動につながるため、積極的に利用してほしい」と呼び掛ける。

（柏谷和宏）

下山報告なし→家族に通知

を受けた自治体や警察ら。県警地域課は「情報把握がそれぞれ管理しているため、これまで遭難があった場合、確認に時間がかかっていたとい

握がスムーズになるし、協会は全国の府県警と捜索範囲を絞ることが同様の協定を結んでお

できれば遭難者の発見り、岡山は12番目。

も早くなる」と期待する。